

## 平成30年度第3回 山陽小野田市総合教育会議

- 1 日 時 平成31年2月14日（木曜日） 13時30分開会 14時35分閉会
- 2 場 所 市役所本館3階 大会議室
- 3 出席者 市長 藤田 剛 二  
教育長職務代理者 砂川 功 教育委員 竹田 佳枝  
教育委員 棟久 佳子 教育委員 中村 真也
- 4 欠席者 教育長 宮内 茂則
- 5 市長、教育長、教育委員及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名  
企画部長 清水 保 企画部次長 篠原 正裕  
企画政策課長 和西 禎行 企画政策課長補佐 杉山 洋子  
企画政策課主任主事 橋口 茉由  
教育部長 尾山 邦彦  
教育総務課長 吉岡 忠司 教育総務課長補佐 矢野 亜希子  
学校教育課長 三輪 孝行 社会教育課長 河上 雄治  
学校給食センター所長 井上 岳宏 学校給食センター所長補佐 山本 修一  
福祉部長 岩本 良治  
子育て支援課長 川崎 浩美 子育て支援課長補佐 別府 隆行
- 6 傍聴人 なし
- 7 議事
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 協議事項
    - ①高千帆児童クラブについて
    - ②小野田児童クラブについて
  - (4) その他
  - (5) 閉会

## 1 開 会

### ○和西課長

定刻になりましたので、ただ今から平成30年度第3回山陽小野田市総合教育会議を開催します。まず、資料の確認をさせていただきます。

#### 【資料確認】

それでは、早速ですが、会議の議長は運営要綱により、市長となっています。

御挨拶のあと、この会議の議事録の署名をしていただける方2名を指名して頂き、引き続き進行をよろしくお願いいたします。

## 2 市長あいさつ、3 議題

### ○藤田市長

本日は、大変お忙しい中第3回山陽小野田市総合教育会議に御出席頂き、ありがとうございます。

それでは最初に議事録の署名をお願いしたいと思います、今回は中村委員と棟久委員にお願いします。

それでは議事に入ります。本日の議題は2つです。まず、「高千帆児童クラブについて」です。子育て支援課から資料1について説明をお願いします。

### ○和西企画政策課長

前回10月25日に総合教育会議第2回を開催し、高千帆児童クラブを議題にしました。その後11月に教育委員会事務局職員、子育て支援課及び企画政策課の職員で高千帆小学校及び高千帆児童クラブに視察に行き現状を確認しました。その後、教育委員会事務局と市長部局の子育て支援課、企画政策課で今後の方向性を事務協議したので、資料に基づき、その経緯を踏まえ話をさせていただきます。

### ○川崎子育て支援課長

ただいま企画政策課から話があったように、11月5日に現地視察に行った際の現状をもとに子育て支援課サイドとしての考えをまとめた資料です。【資料1について説明】。

これらを踏まえて3ページ目、二つの利用方法を案として挙げさせてもらいました。①については、確認事項を列挙していますがこれは学校サイドとの協議が必要であると考えています。②については、提案としては現実的ではないと思いながらも手法としてはありなのかなという思いで提案しました。これらの資料をもとに、教育委員会事務局と事前の協議をしましたが、高千帆小学校は児童数が増えていっている中で、教室をお貸し頂くということは大変難しいという回答を得ていました。

来年4月からの申込みを今年度12月に受けましたが、前年115名の入所申込みのところ、今回は143名の入所申込みがあり、現状40人があぶれることとなります。こうしたことから、再度教育委員会事務局に検討してもらったところ、来年度に限り高千帆小学校の特別教室を使わせてもらえることになりそうです。子育て支援課からは以上です。

### ○砂川教育長職務代理者

今日の話し合いについて、どこに焦点を合わせて進めていくのか確認したいです。高千帆児童クラブには20数名の待機児童がいるからその児童についてどのように手当てをつけるか、とい

うのが主になりますか。

○和西企画政策課長

前回、待機児童が発生しているという話と、高千帆小学校には利用できる空き教室がないという2つの懸案事項が挙がってきました。そこでこのたび事務局で視察を含めて一定の方向性を見出しました。その内容をここで御報告させて頂き、御了承が得られればと思っています。

○藤田市長

2019年は40人ほどの待機児童が出るというのが最新の情報です。それも含め議論を深めたいと思います。次に、資料2について教育総務課から説明をお願いします。

○吉岡教育総務課長

最新の状況ではさらに児童数が増えています。空き教室をどのように利用するかも踏まえて御説明させていただきます。【資料2について説明】。

児童クラブの用途で使うと考えると、33年度までなら空き教室として図書室での利用が可能です。34年度以降は空き教室がありません。

ここからが前回と違うのですが、35年度、36年度については、高千帆小学校の普通教室、特別教室が足りないことになり、現在の建物では対応できないと予測しています。物置もなくなり、現在でも多目的ホールの一角を区切って物置として使っている状態です。こういう状況になりうるということを御承知頂きたいと思っています。

○藤田市長

一つ確認ですが、資料1の3ページ目、「考えられる利用方法」の欄に、ただいま教育総務課から提案のあった図書室が漏れています。図書室も候補に入れるということによいのですか。

○川崎子育て支援課長

図書室は通常利用する児童と、児童クラブを利用する児童の出入口の動線が一つしかないという点で、なかなか御理解が得られないと思っていました。協議をする中で、学校側がそれでもいいというなら可能性が出てきたということです。

○藤田市長

わかりました。厳しい状況ではありますが、31年度は図工室、32年度は図書室を使わせて頂きましょう。それもマックス33年度までしか利用できないということです。これらを踏まえて委員の皆様には御意見を頂きたいと思います。ほかに選択肢がないのが現状なので、ひとまずこの考え方のもとでスタートさせて頂きたいとはと思っています。

○棟久教育委員

35年度、36年度は普通教室数が不足しています。プレハブの校舎を建てるという計画はありますか。

○藤田市長

基本的には計画はないですが、現状からそうせざるを得ないだろうと予測しています。

○岩本福祉部長

校長先生からもプレハブ等の対応をしてほしいと要望を受けたばかりという段階です。早急に対応していかなければならないと考えています。

○藤田市長

学校側から31年度の図工室利用は理解を得られていると理解しています。32年度、33年

度の図書室については利用の可能性が含まれているという段階です。まずは目の前の31年度の対応策を頂いて結論に持っていきましょう。何か御意見がいただければと思います。

○砂川教育長職務代理者

教育が多様化し、教育レベルが上がってきています。それに逆行するような、場当たりの対応策はどうかと考えているところです。長い目で見なければなりません、そういう印象を持っています。

○中村教育委員

31年度は図工室を使わせてもらい、32年度は教室の増設を考えるべきではないでしょうか。教室が足りないという状況になる訳ですから、増設計画を作って示すべきではないでしょうか。

○藤田市長

貴重な御意見であり、今後の協議事項とさせていただきます。

○竹田教育委員

図工室は利用可能であるということですが、資料1に挙がっている確認事項について、これだけのことはクリアできそうかどうかということでしょうか。来年度以降の対策については、この1年で考えてもらえるのかなという思いでいます。

○藤田市長

教育委員会事務局にお聞きしますが、図工室を利用する環境整備をさせてもらえるということで学校側との話をしているということでしょうか。

○尾山教育部長

資料1の3ページに挙げた①の確認事項について、学校からの了承は得ています。あくまでも、日中は少人数教室として利用し、放課後と土曜日に児童クラブとして使いたいということで聞いています。運営面で31年度は問題ないと捉えています。32年度になると図工室は普通教室に模様替えるため、放課後に児童クラブとして使うことができなくなるので、図書室へ移動して頂けませんか、ということで資料を作っています。

○藤田市長

そういう理解で進めさせていただきます。31年度は図工室を利用させて頂き、32年度以降速やかに根本的な対策を練っていくということでしょうか。

○尾山教育部長

仮に児童クラブが図書室の畳スペースを使うということになると、子どもが遊んだりビデオを見たりするということになり、音がするので図書室自体をどこにもっていくかという問題もあります。その辺りの調整はまだできていません。

○藤田市長

子育て支援課もそういうことを感じて候補に入れていなかったと思います。32年度以降の対策は早急に取りなければならないと理解しています。

○砂川教育長職務代理者

高千帆校区には空き家が解体され更地になったところが増えて、随分新築住宅やアパートができていいるなど感じるため、児童数が更に増える可能性はあります。急ではないとは思いますが、もっと長い目で見て抜本的な策で手を打たなければならないということを理解しなければならないと思います。

○藤田市長

高千帆児童クラブについては、31年度は図工室を利用させて頂きましょう。32年度以降はしかるべき対策を取るということにしたいと思います。

では次に、子育て支援課から資料2について説明をお願いします。

○別府子育て支援課長補佐

現在、小野田児童館で小野田児童クラブを実施しています。【資料3について説明】。

○藤田市長

では資料4について学校教育課から説明をお願いします。

○三輪学校教育課長

【資料4について説明】。理由は様々ですが、学校に戻ることが可能であるという状態を目指して勉強している状態の子どもたちが通っています。ケースによって違いますが、この相談室があることによって学校に戻ることができるようになったということもあります。これをどうにかして31年度以降も設置をするべきと考えているところです。老朽化は仕方ありませんが、学校に通えない何らかの理由を抱えている子どもたちなので、学校の敷地には設置できないと考えます。そこを配慮しなければならないと考えています。

○藤田市長

ハードとしては老朽化という基本的な問題があります。それから利用については、定員キャパの問題。諸々ありますが、しっかり皆さんの意見を頂いて課題を明確にしていきたいと思います。一つ確認ですが、周辺の空き家の利活用ができそうという情報はありますか。

○別府子育て支援課長補佐

空き家については市民生活課が管轄しており、リストを持っているのでその中でBランク以上のものをピックアップしました。近さから判断して10件弱、使用が可能でありそうな物件は目星をつけていますが、現地を見に行っていないので早急に確認に行きたいと思います。

○藤田市長

それはぜひ進めてください。

○竹田教育委員

私は小野田校区に住んでいるため小野田児童館にはよく行くのですが、去年11月の水道管漏水以降、入り口の天井のコンクリートが剥がれてきていて、通行するのも危険です。児童館祭りがあるということで危険な箇所には立ち入らないように館長さんが動いていらっしゃいましたが、その危険があるのと、浄化槽のマンホールの部分も、怖いなというエリアを児童が行き来しています。耐震化云々でお金をかけるのはあり得ないと思っています。建て替えるのが一番理想だと考えているところです。

○藤田市長

現地の状況を見れば見るほど、その危険性を感じておられるのだと思います。

○竹田教育委員

いつ誰が怪我をするかわからない状況であると思います。

○中村教育委員

仮に建て替えるとなると、場所的には児童クラブにしても学校に近いほうがよりよいということですが、土地はあるのですか。

○別府子育て支援課長補佐

学校から近いのが一番いいので学校の敷地内というのが一つあります。今の児童クラブは場所的にも隣接しているので問題はないと考えます。理想は現地建替えです。この辺りは建物が密集している地域でもあるため、まとまった広さの土地というのは、正直見当はついていない状況です。

○中村教育委員

建て替えるとなると児童クラブ、ふれあい相談室含め、仮にどこかに手当てしなければならない状況になると思うのですが。

○別府子育て支援課長補佐

どういう建替えにするかというのはこれからの検討となります。

○中村教育委員

土地がないということなら、建て替えない場合に小野田小の利用できる空き教室はどのくらいありますか。

○吉岡教育総務課長

小野田小学校で3つあります。すべて普通教室に隣接しているため、転用には難しさもあります。

○中村教育委員

空き家を利用することも考えていますか。

○別府子育て支援課長補佐

高千帆校区も空き家を見に行きましたがBランクでも想像以上に傷んでいる事案もありました。現地を見に行かなければ何とも言えないところではあります。送り迎えのための駐車場の用地もいりますし、そういう面まで考えなければならないと思っています。

○中村教育委員

築60年近いということで建替えを考えるべきだと思います。

○竹田教育委員

予算の関係もあると思いますが、空き家という選択肢があるならふれあい相談室の設置は可能だと思います。児童館は屋内だけでなく、子どもたちを外で遊ばせてあげる必要があるので、グラウンドがない空き家は選択肢にはないのではないかなと思うのですがいかがでしょうか。

○川崎子育て支援課長

竹田委員の言われるとおり、外遊びが必要ですので、空き家では現状難しいと考えます。もし適切な空き家があって使えるとしても、学校のグラウンドに遊びに行ける距離になろうと思いません。

○砂川教育長職務代理者

竹田委員にお聞きしたいのですが、小野田小学校は旧小野田市の全ての校区を対象とした通級学級を併設していると思うのですが、それはふれあい相談室の中で対応しているのですか。

○竹田教育委員

いいえ、それは小学校で行っています。

○砂川教育長職務代理者

70人云々という子どもの数字は、小野田小の校区の子どもたちを指しているということだし

ようか。

○竹田教育委員

そういうことになります。

○砂川教育長職務代理者

小野田小学校は児童数が減少傾向であるように思いますがいかがですか。

○竹田教育委員

高千帆小学校のように増えていく傾向にはないと考えています。

○砂川教育長職務代理者

小野田小は旧小野田市の中では中心校です。モデル的な要素を持っていると思います。発達障害児や精神的な問題を抱える子どもたちも行ける学校であるということは理解しておかなければならないと思っています。

○棟久教育委員

小野田については、ふれあい相談室と児童クラブを別で考えていったほうがいいのではないのでしょうか。特に同じ建物でなければならないということはないと思います。ふれあい相談室はまた通いやすい場所が見つければいいのではないのでしょうか。

○藤田市長

委員さん方から御意見を頂きましたが、その中で何か事務局サイドから意見はありますか。

○三輪学校教育課長

委員さんが言われたように、ふれあい相談室については別の場所でもいいかと考えています。児童には午前中のみ通っている子もいますが、中には、一日いる児童もいます。例えば卓球台が置けるような発散できるようなスペース、小さい職員室、それに保護者が相談できるようなスペースと合わせて3部屋あればいいなと考えています。

○砂川教育長職務代理者

発達障害児や学童についての委員会に携わる中で、厚狭の住民の方々が、小野田の学校は一番面倒をよくみてくれると話していたのを聞きますし、小野田校区に引っ越してくるという事例も知っています。小野田小学校というのは市民からも大切に思われている小学校であると思います。

○藤田市長

小野田児童クラブについては、すぐ結論とはいきませんが空き家を含めて情報を精査して頂きたいです。空き教室について、将来工夫をしていく余地はないのか検討を重ねてください。児童クラブの図面を見ていましたが、児童館スペースに隣接している歴史民俗資料館の倉庫を移動できる場所がうまく見つければ、その空きスペースを広げるという考えは可能性としてどうですか。

○岩本福祉部長

シルバー人材センターの倉庫は、ここである必要があるのか精査したいと思います。歴史民俗資料館の方は必要があってこの場所にいると思うので、市の方で検討を重ねます。

○藤田市長

歴史民俗資料館の倉庫がうまい具合に調整できれば窮屈な状態が緩和できるかなという簡単な思いですが、案としてはあると思います。

○岩本福祉部長

建築法とも関係してきますが、壁をぶち抜いて利用するというのは難しいのではないかと考えています。

○川崎子育て支援課長

現在の広さは、児童クラブの運営には支障はない状態です。部屋が狭いということではなくて、老朽化の方が問題であると考えています。

○藤田市長

スペースの問題は喫緊の問題ではないということですか。

○川崎子育て支援課長

そう考えています。

○藤田市長

老朽化対策が喫緊の課題であるということです。ふれあい相談室は大切な施設であるのでまた別次元で考えましょう。小野田児童クラブの今後の可能性について説明をお願いします。

○和西企画政策課長

議題として出させて頂いたものは、重点的に講ずべき事項と判断して挙げさせて頂きました。施設が老朽化していることから、解体することは間違いないと考えています。それを建て替えるのかよそに振り分けられるのか。市長部局では結論が出ません。皆様の御意見も頂いたので、教育委員会事務局と市長部局双方で協議をし、また御報告させて頂きます。

○藤田市長

協議の真ただ中ですので、こういうことを加味してほしいというような御意見があればお聞きしたいです。

○竹田教育委員

小野田校区は極端な児童数の増加はありませんが、特別支援に該当する児童が増えていく可能性は大です。建替えではない選択肢は避けて頂きたいと思います。その支援の部分が今後大切になってくる気がしています。

○藤田市長

急ぐ問題なので、今後、随時進捗や方向性を示してもらえればと思います。

議題についての協議が終わりました。「4 その他」ですが委員の皆様から全体を通して、何かございますか。(なし)。では事務局からありましたらお願いします。

○井上学校給食センター所長

学校給食費の公会計化について御報告をさせて頂きます。平成28年度の総合教育会議において延べ5回、協議をさせて頂きました。その中で、給食センターが供用開始をした後のなるべく早い時期に、文科省が平成30年度に公表予定の学校給食費公会計に係るガイドラインに沿って速やかに公会計化するということになりました。これを受けて、本市では平成32年度からの公会計化を目指すとして予算化など内部の手続きをしてきたところです。しかし、諸事情により先送りすることとなりました。

【資料「学校給食費の公会計化 ロードマップ(案)」について説明】。

文科省から公表予定のガイドラインの情報すら出ていないということで、どのような内容かも分からない中で、システムの構築等なかなか進めづらいこと、住基系ネットワークシステムのバージョンアップ・自治体クラウドの調整を行っていますが、こちらの調整も遅れそうであるとい

うことで、こちらのシステムがないと給食費会計も入れられませんので、準備期間が不十分であるということにより、平成32年度4月からの本格始動が難しくなりました。つきましては、情報管理課や教育委員会事務局、財政課と調整する中で、少なくとも、1年間先送りして予算化することで確実に実現できるのではないかということになりました。以上、御報告させていただきます。

○藤田市長

予定をずらさざるを得ないということですので、御理解を頂きたいと思います。延期することについて、公会計化に関し気になることがありますか。

○井上学校給食センター所長

先日、校長会でも御報告させて頂き御理解を頂いたところです。学校の教職員の事務負担軽減の目的から公会計化するので、学校での事務負担が1年延びたということで現場はがっかりしているという話はお聞きしています。

○藤田市長

そのほか何かあればお伺いします。

貴重な御意見を頂きましたので、しっかり反映させていただきたいと思います。それでは協議が終わりましたので、以上を持ちまして本日の会議を終了いたします。次回については事務局から事前に御案内があると思いますので、委員の皆様は御出席をお願いします。

#### 4 閉 会

山陽小野田市総合教育会議運営要綱第6条第2項の規定により、ここに署名する。

平成31年3月8日

市 長 藤 田 剛 二 印

指名署名人 教育委員 棟 久 佳 子 印

指名署名人 教育委員 中 村 眞 也 印

議事録を調製した職員 企画政策課主任主事 橋 口 茉 由 印